

令和5年度 第2回沖縄県観光振興基金検討委員会の議事概要

- 1 開催日時 令和5年11月29日(月) 10:00~12:00
- 2 開催場所 沖縄県庁6階第2特別会議室
- 3 出席委員 別紙のとおり
- 4 議 事 令和6年当初予算の沖縄県観光振興基金活用事業について

5 意見交換

令和6年度当初予算の沖縄県観光振興基金活用事業(案)に関して、委員から次のような発言があった。

(1) 那覇空港観光2次交通対策事業(新規)

- 那覇空港のバス乗り場は、開港当時は方面別に整理されていたが、新規の路線バス等開始され、非常に混雑している状況。国際線の再開や高架道の開通に伴って、路線バスの方面別の整理が必要なので、県の力を借りて整理できるようにしたい。
- キャッシュレス化及び対応可能な支払方法を分かりやすく表示するための取組を盛り込んでいただきたい。

(2) 観光タクシー人材育成支援事業(新規)

- 修学旅行については、予約は2~3年前から入るが、工程表が直前に届くのでバスの有効活用がしにくい状況である。
- バスを有効活用するためには工程表の早期提出が必要不可欠であるため、県のほうからも協力を依頼するなどしていただきたい。

(3) 災害時観光客避難支援事業(新規)

- 災害規模は予測できないので、ゆとりをもって支援するために予算は多めに確保したほうがよいと思う。
- 利用客目線で、どのような場合にどのような対応をするのかというのを分かりやすく整理していただきたい。市町村ごとに対応が異なったり、避難してきたタイミングで補填の有無が生じたりすることがあれば不満にも繋がると思う。

(4) 観光人材受入等支援事業(新規)

- 外国人を採用して住宅を一緒に探すことが多いのだが、会社が保証人になれず、個人が連帯保証人になるケースが多い。保証協会や全保連とタイアップして外国人向けの保証サービスを拡充していかないと、外国人が簡単に住めるような環境づくりは難しいと思う。

(5) 世界自然遺産地域活動支援事業(新規)

- 世界自然遺産地域の活動支援があるのは大変ありがたい。自然環境への負荷については、観光資源でどのくらい利用するのかということとの関連が大きなポイントであり、それを解決するためには、ガイドの育成が最大の解決策になりうると思う。

○民間事業者が集まって世界自然遺産地域の保全に取り組もうというムードができて
いるので、県もこれに協力する形で取り組んでいただければありがたい。

(6) 観光2次交通結節点機能強化事業（継続）

○北谷町を結節点として整備するという町計画があるので、実証事業を実施すること
は有意義であると思う。

(7) マリンレジャー事故防止事業（継続）

○外国人は YouTube などビーチの動画を視聴することが多いので、多言語化した動
画で注意喚起してもよいのではないかなと思う。

○ハワイなどマリンレジャー先進地が、レジャー客に対して安全安心をどのように確
保しているのかを事業の中でしっかり検討できるとよい。

(8) MICE受入体制強化等事業（継続）

○MICE需要を取りこぼさないように、地域間で情報共有をしあえるような広域連
携のような取組も必要ではないかなと思う。

(9) しまじまの芸能を活用した文化観光コンテンツ創出事業（継続）

○文化資源そのものの保存・継承・発展と、芸能祭を二本柱とする事業だと思うので、
芸能祭だけの一過性のイベントになることのないよう、二本柱で実施していただき
たい。

(10) 新たなアクティビティを活用したスポーツツーリズムコンテンツ実証事業（継続）

○年度で区切られている部分はあると思うが、新たなコンテンツを数か月間で事業化
していくのは難しいところもあると思うので、継続して支援していくスタイルも考
案していければと思う。

(11) その他ご意見

○オーバーツーリズムに対する地元住民の懸念が大きい。いろいろな事業を進めるな
かで、地元住民への配慮や生活の保障が必要である。

○ホエールウォッチングに関して、クジラに近づきすぎる等の危険行為やクジラが寄
り付かなくなるのではという懸念が広がっており、ルール作りをしてほしいという
要望もあるので、検討をお願いしたい。

○これからの基金のあり方を考える上では、観光振興基金の存在や意義を県民に広く
共有する必要があると思う。そうすると個々の事業の効果検証のみならず、基金全体
としてどのようなミッションがあるのか、それが達成できたのか否か、4本柱に沿っ
た見える化チェックなど、基金全体の姿が見えるように整理するように検討していただ
ければと思う。

沖縄県観光振興基金検討委員会 委員名簿

	種別		所属・職名	氏名	第2回 出欠
1	有識者(観光)		琉球大学国際地域創造学部 観光社会学研究室 教授	越智 正樹	○
2	有識者(環境)		琉球大学名誉教授	伊澤 雅子	○
3	観光関連団体	旅行業	(一社)日本旅行業協会 理事	東 良和	×
4	観光関連団体	宿泊	(一社)宿泊施設関連協会 沖縄支部副支部長	高倉 直久	○
5	観光関連団体	交通	(一社)沖縄県バス協会 専務理事	慶田 佳春	○
6	観光関連団体	観光施設	(一財)沖縄美ら島財団 専務理事	湧川 盛順	○
7	その他	文化	(同)琉球芸能大使館 代表	富田 めぐみ	○
8	その他	スポーツ	名桜大学大学院 国際文化研究科 スポーツ健康学科 教授	平野 貴也	○